

○関東・中部地方の地震活動

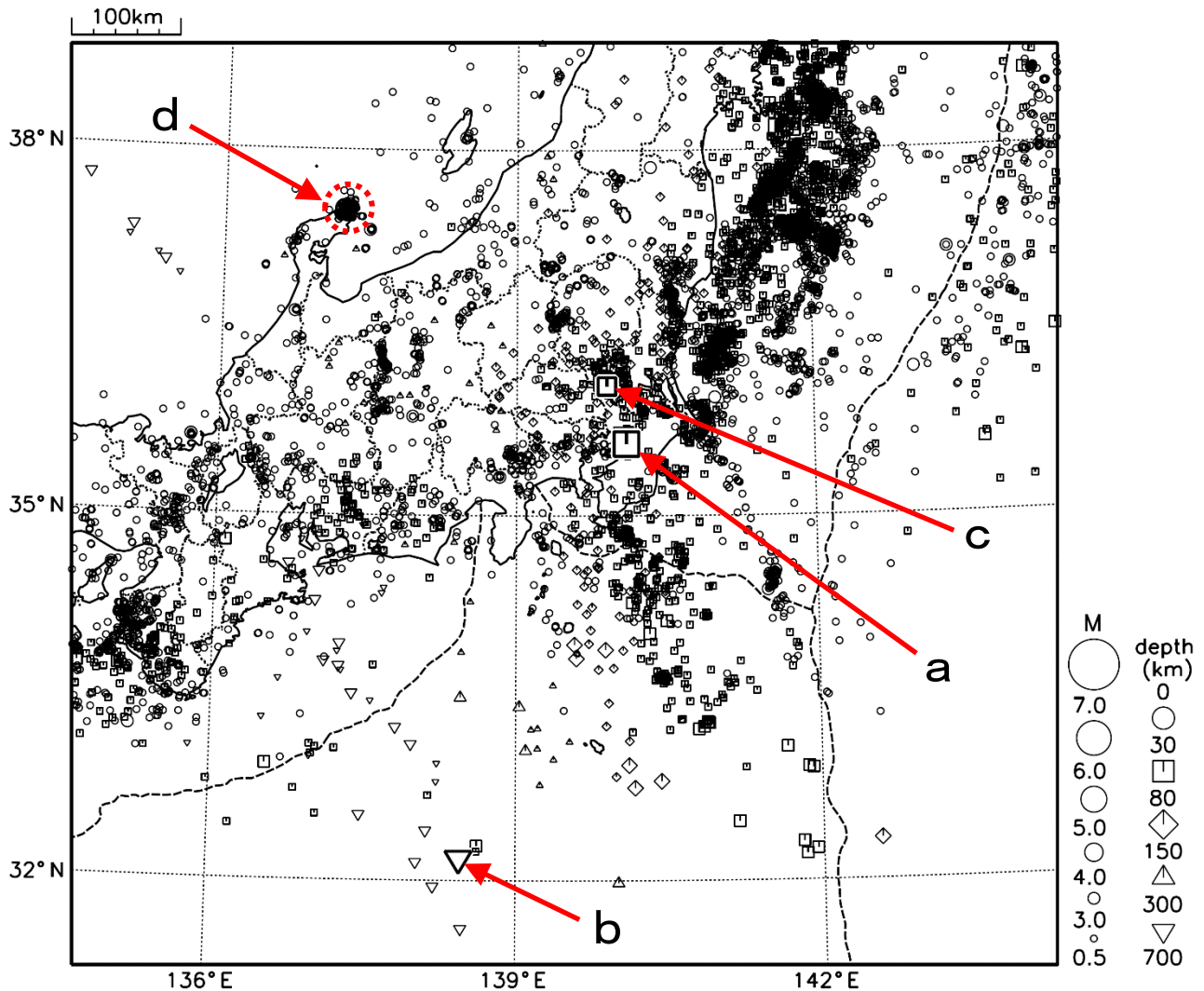


図7 関東・中部地方の震央分布図（2021年10月1日～10月31日、M \geq 0.5）

〔概況〕

10月に関東・中部地方（三重県を含む）で震度1以上を観測した地震は52回（9月は75回）であった。

10月中の主な活動は次の通りである。

7日22時41分に千葉県北西部の深さ75kmでM5.9の地震（図7中のa）が発生し、埼玉県川口市、宮代町及び東京都足立区で震度5強を観測したほか、東北地方から近畿地方にかけて震度5弱～1を観測した（p.59～73の特集参照）。

21日17時36分に東海道南方沖の深さ356kmでM5.6の地震（図7中のb）が発生し、栃木県宇都宮市で震度3を観測したほか、東北地方、関東甲信越地方及び和歌山県で震度2～1を観測した。（p.13～15参照）。

28日09時55分に茨城県南部の深さ45kmでM4.5の地震（図7中のc）が発生し、茨城県坂東市で震度4を観測したほか、関東地方、福島県、山梨県及び静岡県で震度3～1を観測した（p.5、16参照）。

石川県能登地方では地震活動が活発であり、10月中に震度1以上を観測した地震が13回（震度3：3回、震度2：2回、震度1：8回）発生した（図7中のd、能登半島沖で発生した地震3回を含む）。10月中の最大規模の地震は3日11時10分に発生したM4.3の地震で、石川県珠洲市及び能登町で震度3を観測したほか、新潟県から福井県にかけて震度2～1を観測した。（p.17参照）。